

赤穂民報

'14.2.15

▼「医療現場に手話広めたい」NHK手話ニューズキャスターの中野佐世子さん(53)を講師に迎えて13日まで4日連続で開かれた関西福祉大学の手話特別講座に県外から一般受講者が参加。学生に交じって熱心に学んだ。広島県呉市の元看護師、村岡由佳里さん(53)。看護師や訪問看護指導員として20年以上の経験がある村岡さんは「医療現場における手話の普及」を最終的な研究目標に掲げ、50歳で広島文化学園大学大学院看護学研究科の修士課程に入学した経歴の持ち主。昨春に博士後期課程へ進み、現在は自身の研究のかたわら、経験を買賣わって在宅地域看護学実習の講師として学内指導にも当たっている。看護師として勤務し

ていた30代のとき、突発性難聴で両耳が数カ月間聞こえなくなったことがある村岡さん。自分の病状を言葉で伝えられない辛さ、医師や看護師が何を話しているのかわからない心細さを身をもって知っており、「手話が出来て医師や看護師を一人でも多く増やしたいのです」という言葉に実感がこもる。

村岡さんは全国手話検定1級の熟練者。今回の講座は手話の基礎を学ぶ内容だが、「すぐれた手話の指導方法を学びたい」と申し込んだ。歌やゲームを取り入れたプログラムで初心者向けの手話指導に定評がある中野さんの講座に最前列で目を見張り、細かくノートに書き留めた。中野さんは「熱心が伝わってきました。一緒に受講する学生のみなさんにも、よい刺激になったはず」と歓迎。村岡さんは「すべてが参考になります。看護師向けに検討中の手話研修プログラムに取り入れたいです」と熱く語っていた。(写真は今中野佐世子さん(左)の手話講座を受講するために広島から来穂した村岡由佳里さん。2人のポーズは「手話を



覚えよう」の手話

本学関係者のみに配布しています。複写等のご遠慮ください。